研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 6 月 2 7 日現在

機関番号: 35404

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2019~2023

課題番号: 19K02489

研究課題名(和文)学びから生まれるシビックエンゲージメントによる持続可能なまちの構築

研究課題名(英文) To Build a Sustainable City through Civic Engagement Generated from Learning

研究代表者

山川 肖美 (Yamakawa, Ayumi)

広島修道大学・人文学部・教授

研究者番号:40284137

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文):本研究では、まちに拡がる多様な学習装置の存在および学びとシビック・エンゲージメントとの好循環の仕組みを明らかにしてきた。その成果として、第1にまちに拡がる学習装置としての兵庫県神戸市のKIITOや福岡県久留米市のChietsukuプロジェクトによる学びの社会的成果を個人的・社会的側面において明らかにすることができた。第2に「広島版学びから始まる地域づくりプロジェクト」を試行した広島県内3自治体における学びによる市民参画のプロセスとそのプロセスにおける個人的・社会的成果を把握・分析することができた。第3にコロナ禍以降の学習都市の変容と生涯学習によるまちの持続の可能性を把握することができ た。

研究成果の学術的意義や社会的意義 答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の中軸を成す「学びと活動の循環によるとづくり・つながりづくり・地域づくり」という考え方は、その後の多くの行政計画や現場の指針と して位置づいている。

本研究ではこの考え方を社会実装していく上で有用な枠組みや視点について提示することができた。具体的には、学びとシビックエンゲージメントの好循環の仕組みが持続可能なまちの構築につながることを、先行する好事例である神戸市と久留米市の取り組みを取り上げて検証するとともに、広島県と連携して「学びから始まる地域づくりプロジェクト」を試行・実施し社会実装による社会的成果を導いた。

研究成果の概要(英文): This study explored the existence of various learning devices spreading in the city and the mechanism of a virtuous circle between learning and civic engagement. First, we were able to clarify the social outcomes of learning at KIITO in Kobe City, Hyogo Prefecture, and the Chietsuku Project in Kurume City, Fukuoka Prefecture, in terms of both individual and social aspects. Secondly, we were able to grasp and analyse the process of civic engagement through learning and the individual and social outcomes of that process in the three municipalities in Hiroshima Prefecture that piloted the 'Hiroshima version of the Community Development Project Starting with Learning'. Thirdly, we were able to grasp the transformation of the Learning City after the COVID-19 and the possibility of sustaining the city through a cycle of learning and citizen participation.

研究分野: 生涯学習論・社会教育学

キーワード: 学びと活動の好循環 シビック・エンゲージメント 学習の社会的成果 オープン・ガバナンス 学び から始まる地域づくりプロジェクト デモクラシー 学びによる持続可能なまちづくり 市民参画によ

る社会実装

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

本研究は次のような3つの学術的背景のもとで構想・開始した。

第1に、教育基本法第3条にある生涯学習社会の形成のために「知の循環型社会」を構築する必要があると指摘されて久しいにもかかわらず(中央審議会答申、2011) また社会教育に対しても「地域課題の解決に寄与するなど、地域社会の活性化を図っていく上で重要な役割」が期待されているにもかかわらず(中央教育審議会生涯学習分科会答申、2013) 地域課題に関する知を循環させるための実践研究が不足していたからである。学習と活動の循環によるひとづくり・つながりづくり・地域づくりを志向する答申も出て(中央教育審議会生涯学習分科会答申、2018) 具体的な方略を模索している時期でもあった。

第2に、生涯学習実践研究において「国民が生涯にわたって行う学習活動の支援の要請」と地域課題に関する知の循環との関係が明らかにされていないからである。

第3に、現在のまちづくり研究が、「コミュニティデザイン」の影響を受けて建築学や都市計画からの観点に偏り、比較的短期で小規模の話し合いとしてのプロジェクトがモデル化される傾向や行政起点の一方向的な課題提起を協働のまちづくりと位置付ける傾向にあるからである。

都市戦略の実装化に資する学習装置はどのように社会に埋め込まれているのか。まちづくりに資する知の循環はどのように実質化されうるのか。学習都市はこれを実質化しうるのか。これらの問いを解明するために、本研究では官・民を問わず、まちに広がる組織的・非組織的な学習装置に着目し、そこにおいてまちづくりの前提をなすシビック・エンゲージメントがどのように育まれ、持続可能なまちの構築に向けて、学びから始まるシビック・エンゲージメントの取り組み実践がいかに社会に実装化できるか、実装化の過程で学習者が得られる成果とは何かを明らかにしようとした。

2.研究の目的

本研究で目指したのは、まちに広がる多様な学習装置によりシビック・エンゲージメントが生まれるメカニズムを明らかにすること、そしてその成果として、持続可能なまちづくりが推進されていくことを実証することであった。

生涯学習とまちづくりの関係に関しては、ここ 10 年位の間に、社会関係資本の観点からの研究が認められる。いずれの研究も実践への重要な示唆を与えるものであるものの、主に理論の実践への応用可能性を探るものであり、かつ言及される地域が小学校区から中学校区等小規模な行政区に限定される傾向にある。加えて、よき市民へ成長する過程に着目しているものが多いため、学びから活動への一方向の道筋が強調される傾向にあり、活動を起点にいかなる学びが生まれるか、あるいは活動から学びへどう戻るか、その結果どのようなまちが形成されうるのかという視点は乏しい。

これに対して本研究では、第1に、学びと活動の循環をベースとして、あるいは、それらが好循環を重ねた場合、結果としてどのように持続可能なまちを自ら育む多様なステークホルダーが形成されうるのかを実証することを目的とした。第2に、公的機関だけでなく民間機関や民間人を含む多様なステークホルダーの存在や役割も明らかにすることとした。そのために、公的機関が中心になって学習装置が準備されるケースと公的機関のみに依存せず学習装置が創発されるケースを取りあげて比較・分析をすることとした。第3に、これらを明らかにするスケールを市町とした。そのため、市町のスケールを前提し持続可能なまちを志向する学習都市(Learning Cities)に関する有意義な研究を参照し、グローバルな視座に基づきつつも、上の2点を実証・分析するため、UNESCOの提示する指標を当てはめるにとどまらない方向性を目指した。

3.研究の方法

本研究では、上記研究目的を達成するために、まちを次の2つのタイプに分けてシビック・エンゲージメントを導く学びの有り様とその成果としてのまちの変容を比較・検証した。

1つ目のタイプは、公的機関を中心にまち全体に学習装置を創発し、その成果としてシビック・エンゲージメントの形成を促すまちである。当初は、デンマーク・オーフス市、神戸市、兵庫県尼崎市、奈良市を代表として取り上げ、その特徴的な仕組みや学習拠点(神戸市:デザイン・クリエイティブセンター神戸、尼崎市:みんなの尼崎大学、奈良市:奈良ひとまち大学)の中から、スケールアウト可能な共通の要素を明らかにする予定であったが、コロナ禍に伴う移動制限や事業実施の制限等の影響から、神戸市と広島県内の市町を対象にアンケート(ウェップと対面)とインタビュー調査の実施となった(山川・三浦)。

2つ目のタイプは、公的機関だけに依存せず、民間による学習装置がまちに広がることで、シビック・エンゲージメントを生み続けているまちである。このまちの代表として、アメリカ・ポートランド市とポートランド市の手法を参考にしている自治体として福岡市、福岡県久留米市、和歌山県有田川町で調査を実施する予定であったが、コロナ禍の行動制限の影響で福岡県久留米市と兵庫県西宮市での調査となった。いずれもインタビュー調査を実施した(山川・三浦)。

なお、行動制限・移動制限が緩和された 2023 年 9 月にデンマーク・イギリスでの調査を実施することができた。デンマークでは成人教育の全国標準化・統合が進むなど生涯学習推進の取り組みに変化と躍進のあったコペンハーゲン市での現地調査を実施、イギリスではコロナ禍の到来以降、市民力指標を開発し定期的に調査・分析し政策への反映が見られるロンドン市での現地調査を実施した(山川・坂口・三浦)。 学習都市政策についても調査した(坂口)。

4.研究成果

3で掲げた市町を対象に、図1の枠組みで調査研究を実施した。

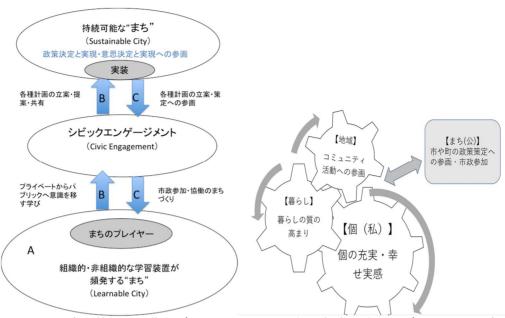


図1 研究の枠組みと位置づけ

図2 個を起点とするシビック・エンゲージメント

第1フェーズ(図1のA)として、福岡県久留米市とデンマーク・コペンハーゲン市で"まち"で創発する学習装置の所在とそのインパクトを把握した。

インタビュー調査より、久留米市では 2014 年に始動した「知恵つくプロジェクト」は、2ヶ月に1度程度、県外でまちづくりにおいて活躍されている人を久留米に招いて開催する「知恵つく講座」を軸として、いくつものプロジェクトを生むプラットフォームとして緩急をつけながら機能し続けている。その過程において、本プロジェクトはまちへの出入り口となり、久留米市民の暮らしやすさを創出し続けていることも分かった。当初は「久留米市の地域と連携した事業展開をしている若手経営者達が集まったプロジェクトチーム」であったところに、講座とプロジェクトが生まれるたびに市内外の人が参画をし、今や、まちを舞台に大きくかつ網の目のような拡がりをみせている。2021 年度末現在、知恵つく講座は 42 回(番外編 12 回を含む)開催され、25 のプロジェクトが派生している。知恵つく講座の開催場所は一定ではなく、その内容に適したまち場である。JR の駅構内が講座開催の場になったこともあるし、まちの老舗料亭の大広間がそれになったこともある。こうして、学びの場が開催されることで、人がまちとつながり、人が人とつながる。ここでいう人には、市外からの講師や参加者も含まれるので、久留米市の応援団が生まれる仕掛けにもなっている。講座から派生したプロジェクトのすべてが「まち・暮らし・生き方」へつながるもので、中には稼ぐプロジェクトも含まれている(山川 2023)。

この過程で判明するのは、自分発・自分達発のシビック・エンゲージメントの創発である。それを図2のように整理した(山川 2022)。

コペンハーゲン市では、公的な社会教育機関としてコペンハーゲン成人教育センター KVUC (Københavns Voksenuddannelsescenter)を訪ね、ヒアリングを行った。KVUC は義務教育から後期中等教育までのセカンド・チャンスを公式な成人教育プログラムとして提供している。訪問した KVUC の学生は主に 18~30 歳の成人で、中等教育等を途中離脱してしまった人が元の教育のルートに戻るため、または労働市場の需要に対応するために、スキルを強化したり補完したりするための教育が実施されている。学習障害のひとつである、文字の読み書きに困難があるディスレクシアの方のための教育、そして企業の従業員向けのリスキリングも含まれている。学生カウンセラーが学生の特定の背景、希望、ニーズに合わせて個別の学習スケジュールを立てるのを支援している点で特徴的であった。本センターは、様々な理由によって教育を受けることができなかった人々を自立させていくことを主目的とするが、近い将来、地域や国の経済的発展の力になることが強く意識されていた。個人から社会への道筋と学ぶ場と働く場との好循環が都市の戦略として位置づいていることがわかる。

民間の社会教育機関としては VIDA LOCAL と We Do Democracy を訪ねてヒアリングをした。前者ではいわゆる地域コンサルタント・コミュニティデザイナーのような存在である代表のジャ

スパーさんに話を聴いた。自分たちのまちや地域を一番よく知っているのは地元の人たちだという信念を持ち、その人たちの要望や思いに沿ってまちづくりプロジェクトを立ち上げることが極めて重要と考えている。そのため 、持続可能な成果を得るために、取り組むプロジェクトは行政機関、事業者、市民を緊密に協力させて進め、ユーザー主導の解決案を開発し、プロジェクトに反映させていた。キーワードはオーナーシップと Co-Creation であった。後者は、その名の通り「デモクラシー(民主主義))」を学び、その体現を促す組織であり、同組織の代表であるザキアさんは自らを民主主義の専門アドバイザーと位置付けている。政治やまちづくりに市民が自ら参画すること、市民の意見に耳を傾けられる民主主義をどう創るかを考えており、人々に自分たちの生活や自分が属する社会に影響を与える機会を提供している。まさにシビック・エンゲージメントを醸成する場であった。誰でもがアクセスしやすいように、各種のワークショップの開催に加えて、カフェやコワーキングなど学びとまちへの出入り口を広く多様につくっているのも印象的であった。デモクラシーが特別な非日常的なものではなく、よりよい日常を市民自ら創造し続けるための拠り所でありあらゆる人が発揮・共有できる知的パワーとして位置づいていた。こうした日常的な民主主義への参画が、シビック・エンゲージメントを醸成し、地域やまちでの意思決定プロセスや政治や選挙への参画へ繋がっていることが明らかであった(三浦2024)。

第2フェーズ(図中B)では、"まち"に広がる学習装置によってシビック・エンゲージメントが生まれるメカニズムを明らかにしてきた。ここでは、2つの"まち"のタイプ別(公的機関・組織として広島県内の市町、民間機関・組織として福岡県久留米市知恵つくプロジェクトを起点とする活動と兵庫県西宮市まちのね浜甲子園を起点とする活動)にまちのプレイヤーのシビック・エンゲージメントとしての活動状況を把握した。また合わせて、政策決定や意思決定への関与や決定した各種計画への実装への参画の状況の把握を試みた。広島県内の市町については広島県立生涯学習センターと連携をして「広島版学びから始まる地域づくりプロジェクト」(通称:ひろプロ)を展開し、それを検証する形で研究を進めた。本プロジェクトの実現にあたっては、実施のための理論枠組みを山川 2019~2023 より提示するとともに、その検証にも参画をした。https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/hiropuro.html を参照のこと。

その結果として次の3点を知見として得ることができた。第1に、一人ひとりの幸せあっての まちの幸せということである。それゆえ、地域やまちの学びの場は、年齢や障害等に関わらず、 その人が暮らしの中に組み込んでいくことができるエリアスケールでの展開が望まれる。時空 を超えてつながることができるオンラインも力を発揮する。第2に、語らい合う場・聴き合う場 としての意義である。小さなコミュニティでの語らい合いの中に暮らし心地を高める課題やヒ ントが見えてくる。課題を聴き逃さない・聴き捨てない受容できる心を育て合うことも大切であ ろうし、受容した課題を次の学びのテーマに変える実践力も大切であろう。誰一人排除しない、 語らい合う場・聴き合う場は民主主義の根本ではないだろうか。第3に、学びの場を通して、小 さなコミュニティ・小さなエリアスケールが重なり合ったりつながったりすることである。例え ば、広島県東広島市では、学舎という名でコミュニティ間が緩やかにつながる。さらに、ひ ろプロという仕組みによって、東広島市での小さなコミュニティの取り組みは市まちを越えて つながっていく。久留米市では、知恵つく講座から派生したプロジェクト同士が目的に沿ってつ ながり合うことがあるという。また、まちの知恵とまちの知恵の交換を企図したマチツクという プロジェクトも存在する。こうして、小さなコミュニティでの学びの成果はより大きな社会的イ ンパクトを生む可能性があることと併せて、小さなコミュニティはが閉ざされることなくオー プンな様相を帯びることで持続可能性を持つことができる(山川 2021・2023)。

第3フェーズ(図中C)はシビック・エンゲージメントが機能する"まち"における行政側からの働きかけによる協働のまちづくりの進展状況と協働のまちづくりが生む学習装置の所在を調査した。都市戦略を実質化する過程において、市民と行政の協働のメカニズムの解明は欠かせない。この点については主に神戸市での検証を実施した。

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO) が行っている + クリエイティブゼミ、および + クリエイティブミーティングが、シビック・エンゲージメントを醸成する、まちにある学習装置となっていること、そして、そこでの学びが、シビック・エンゲージメント醸成において、認知・行動心理プロセスモデルにおける「行動意図」形成の規定因を満たしていることをこれまでのゼミ参加者への意識・行動変容調査より明らかにして論文としてまとめ、三浦(2023)が発表した。ただ、コロナ禍の影響を受けて調査対象者となる参加者が少なかったことや予定通りの調査実施が難しかったこと等から改めて調査する必要も感じている。その際には、コロナ禍以降の動きとして加速しているデジタルツールを使った行政計画の策定と実装における協働の可能性も論究したいと考えている。

第1フェーズから第3フェーズを包摂する研究として、学習都市政策に関する調査と、それを

現代の日本社会に応用した際の可能性について検討することができた。具体的には、行政と、NPO および企業との協働の仕組みに関する検討の上に、ユネスコは世界で主導する学習都市政策が どのような仕組みをもつのかについて研究した。その成果は、坂口(2020;2022)で報告した。また、ユネスコの学習都市政策の観点から、現在の日本社会で見られる「新しい市民大学」の動きをどのように評価できるかについて、検討した。その成果は、SAKAGUCHI(2022a;2022b)で報告した。ただし、すでに各都市で社会教育/生涯学習政策を展開してきた都市にとってどのようなインパクトをもつのか、という観点が、新たな課題として浮上した。今後はこのような観点から、さらにまなびとまちづくりの循環について検討する必要がある。

5 . 主な発表論文等

[雑誌論文] 計15件(うち査読付論文 5件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件)

1 . 著者名 坂口緑 	4.巻 76
2.論文標題	5 . 発行年
学習都市の政策と実践 アイルランドコーク市ASEMグローバル生涯学習ウィークに出席して	2022年
3.雑誌名 社会教育	6.最初と最後の頁 20 25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
坂口緑	令和5年1月号
2.論文標題	5 . 発行年
学習都市というフレームワーク	2023年
3.雑誌名 月刊 公民館	6.最初と最後の頁 4 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
山川肖美	78
2 . 論文標題	5 . 発行年
まちに芽吹く新しい学びの種 まちとまちの結節点、 ひととまち、 ひととひと	2023年
3.雑誌名 社会教育	6.最初と最後の頁 20 29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
坂口 緑	41
2 . 論文標題	5.発行年
2030年代の生涯学習社会を構想する	2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
日本生涯教育学会年報	i-iv
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
三浦 浩之	44
—···· (A-C	
2. 論文標題	5.発行年
Central City 2035 Plan 策定における市民関与	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
修道法学 = Shudo Law Review	163-191
12-12-3 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.15097/00003051	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
4 ****	A **
1 . 著者名	4 . 巻
坂口 緑	52
2.論文標題	5 . 発行年
生涯学習・社会教育事業と多文化共生施策が交差する時 大阪府大阪市の場合	2022年
エルナ目・社会教育争集と夕入心共主心界が、文をする时 人敗的人敗中の場合	2022+
	6 840 1 5 11 5 11
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
明治学院大学社会学部付属研究所年報	3-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
コンファクレスにはない、人はコープファクレスが四世	
4 ##4	
1.著者名	4 . 巻
山川 肖美	42
2.論文標題	5 . 発行年
マングラス 学びから始まる持続可能な地域づくりに関する一考察 学習の社会的成果としての シビック・エンゲー	2021年
	20214
ジメントを鍵概念として	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生涯教育学会年報	83-97
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	有
オープンアクセス	国際共著
	_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4.巻 54
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美	54
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題	54 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美	54
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために	54 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名	54 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために	54 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名	54 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名	54 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名 生涯学習インストラクター・コーディネーター 機関紙	54 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 3
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名 生涯学習インストラクター・コーディネーター 機関紙	54 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 3
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名 生涯学習インストラクター・コーディネーター 機関紙	54 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 3
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名 生涯学習インストラクター・コーディネーター 機関紙	54 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 3
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名 生涯学習インストラクター・コーディネーター 機関紙 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	54 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 3 査読の有無 無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山川 肖美 2 . 論文標題 まちづくりとファシリテーション 学びと活動の好循環を生み続けるために 3 . 雑誌名 生涯学習インストラクター・コーディネーター 機関紙	54 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 3

世州 再美		
世川	1 . 著者名	4 . 巻
2. 論文標題		
- 人ひとりの起いと力で訪ぐ、今そしてこれからの公民館活動 2021年 3. 韓誌名 第70回広島県公民館大会 6. 最初と最後の頁 7・12		
- 人ひとりの起いと力で訪ぐ、今そしてこれからの公民館活動 2021年 3. 韓誌名 第70回広島県公民館大会 6. 最初と最後の頁 7・12	그 · 스슈·林丽店	5 整仁左
3 附該名		
第70回広島県公民館大会 7-12	一人ひとりの想いと力で紡ぐ、今そしてこれからの公民館活動	2021年
第70回広島県公民館大会 7-12		
第70回広島県公民館大会 7-12	3 雑誌名	6 最初と最後の百

### 1	第70回以局景公氏能入会	7-12
### 1		
### 1		
### 1	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著名名 元品 施望子・坂口 緑 2 . 論文精胆 宗郎市における在日外国人教育と地域福祉 瀬流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 3 . 雑誌名	<i>τ</i> ι,	==
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		////
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	+	国際共英
1. 著名名 元森 絵里子・坂口 緑 2. 誠文標題 京都市における在日外国人教育と地域福祉 潮流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 3. 雑誌名 明治学院大学社会学部付属研究所年報 日朝治学院大学社会学部で内属研究所年報 日朝治学院大学社会学部で内属研究所年報 日朝治学院大学社会学のでは、デジタルオブジェクト識別子)なり 1. 著名名 - オーブンアクセス - オーブンアクセスとしている(また、その予定である) - イ・登・3 は 2 は 2 は 2 は 2 は 3 は 3 は 3 は 3 は 3 は		国际共有
元森 絵里子・坂口 縁 第51号 2. 論文標題 京都市における在日外国人教育と地域福祉 潮流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 2021年 2021年 3. 雑誌名 明治学院大学社会学部付属研究所年報 6. 最初と最後の頁 191-212 国際共著 - オープンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 4. 巻 43 2. 論文標題 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出 すず智味養 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 1-31 2月 2020年 7 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
元森 絵里子・坂口 縁 第51号 2. 論文標題 京都市における在日外国人教育と地域福祉 潮流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 2021年 2021年 3. 雑誌名 明治学院大学社会学部付属研究所年報 6. 最初と最後の頁 191-212 国際共著 - オープンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 4. 巻 43 2. 論文標題 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出 すず智味養 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 1-31 2月 2020年 7 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3		
元森 絵里子・坂口 縁 第51号 2. 論文標題 京都市における在日外国人教育と地域福祉 潮流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 2021年 2021年 3. 雑誌名 明治学院大学社会学部付属研究所年報 6. 最初と最後の頁 191-212 国際共著 - オープンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 4. 巻 43 2. 論文標題 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出 すず智味養 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 1-31 2月 2020年 7 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3	1	/
2 . 論文標題 京都市における在日外国人教育と地域福祉 潮流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 3 . 雑誌名 明治学院大学社会学部付属研究所年報 4 . 最初と最後の頁 191-212 1 . 著者名 三浦 浩之 2 . 論文標題 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出 す学習表責 ・ 第2020年 1 . 1 . 著者名 三浦 浩之 2 . 論文標題 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出 す学習表責 ・ 指述名 「		
京都市における在日外国人教育と地域福祉 潮流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 3 . 雑誌名 明治学院大学社会学部付属研究所年報	元弑 紜里子・巩口 緑	弗31亏
京都市における在日外国人教育と地域福祉 潮流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 3 . 雑誌名 明治学院大学社会学部付属研究所年報		
京都市における在日外国人教育と地域福祉 潮流の併存から地域・多文化交流ネットワークへ 3 . 雑誌名 明治学院大学社会学部付属研究所年報	2.論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名		
明治学院大学社会学郎付属研究所年報 191-212 電議の有無 無 オープンアクセス	かまったのけるは日月日八か日こで≪田田 州川川の月けりつでオークスルスルホットフーブーブー	20217
明治学院大学社会学郎付属研究所年報 191-212 電議の有無 無 オープンアクセス	2 thin 47	て 見知に見後の苦
書載論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
### オープンアクセス 国際共著	明治学院大学社会学部付属研究所年報	191-212
### オープンアクセス 国際共著		
### オープンアクセス 国際共著		
### オープンアクセス 国際共著	担耕給ウのNOI / ごごカリナブごテカト禁則フト	本性の方無
オープンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 . 著者名 - 1 . 著者名 - 1 . 著者名 - 1 . 著者名 - 1 .		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	なし	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 4. 巻 三浦 浩之 5. 発行年 2. 論文標題 5. 発行年 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出りでは表現のできる。 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 6週法学 = Shudo Law Review 1-31 日本プンアクセス 国際共著 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 4. 巻 三浦 浩之 4. 巻 2. 論文標題 5. 発行年 月続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5. 発行年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 203-230 電融の有無 なし オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
三浦 浩之 43 2. 論文標題 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) 文音製養置 修道法学 = Shudo Law Review 5. 発行年 2020年 5. 雑誌名 修道法学 = Shudo Law Review 6. 最初と最後の頁 1-31 5. 載初を最後の頁 1-31 1. 31 5. 載初を最後の頁 1-31 1. 31 5. 最初と最後の頁 1-31 1. 31 5. 最初と最後の頁 1 . 著者名 三浦 浩之 4. 巻 41 2. 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6. 最初と最後の頁 203-230 4. 一プンアクセス 国際共著	7 7777 2720 (872, 60) 72 (80)	
三浦 浩之 43 2. 論文標題 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) 文音製養置 修道法学 = Shudo Law Review 5. 発行年 2020年 5. 雑誌名 修道法学 = Shudo Law Review 6. 最初と最後の頁 1-31 5. 載初を最後の頁 1-31 1. 31 5. 載初を最後の頁 1-31 1. 31 5. 最初と最後の頁 1-31 1. 31 5. 最初と最後の頁 1 . 著者名 三浦 浩之 4. 巻 41 2. 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6. 最初と最後の頁 203-230 4. 一プンアクセス 国際共著	4 ***	4 24
2 . 論文標題 都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) す学習装置 3 . 雑誌名 修道法学 = Shudo Law Review 6 . 最初と最後の頁 1-31 電載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 10.15097/00002955 査読の有無 無 オープンアクセス	= : : :	
都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出す学習装置 2020年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1-31 電載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.15097/00002955 無 オーブンアクセス 国際共著 また、その予定である) - 1 . 著者名 4 . 巻 三浦 浩之 4 . 巻 2 . 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6 . 最初と最後の頁 203-230 電読の有無 なし 本 オープンアクセス 国際共著	三浦 浩之	43
都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出す学習装置 2020年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1-31 電載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.15097/00002955 無 オーブンアクセス 国際共著 また、その予定である) - 1 . 著者名 4 . 巻 三浦 浩之 4 . 巻 2 . 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6 . 最初と最後の頁 203-230 電読の有無 なし 本 オープンアクセス 国際共著		
都市戦略・都市計画策定における市民意見の反映に関する研究(その3) Civic Engagement を生み出す学習装置 2020年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1-31 電載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.15097/00002955 無 オーブンアクセス 国際共著 また、その予定である) - 1 . 著者名 4 . 巻 三浦 浩之 4 . 巻 2 . 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6 . 最初と最後の頁 203-230 電読の有無 なし 本 オープンアクセス 国際共著	2	5 発行住
す学習装置 6.最初と最後の頁 1.31 6.最初と最後の頁 目載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.15097/00002955 無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 4.巻 三浦 浩之 4.巻 2.論文標題 5.発行年 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5.発行年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 203-230 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著		
3 . 雑誌名		2020年
 修道法学 = Shudo Law Review 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15097/00002955 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 三浦 浩之 2.論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 3.雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 昼載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 本し 国際共著 1.31 金読の有無 有 本・グンアクセス 国際共著 		
 修道法学 = Shudo Law Review 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15097/00002955 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 三浦 浩之 2.論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 3.雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 昼載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 本し 国際共著 1.31 金読の有無 有 本・グンアクセス 国際共著 	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
書載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	修道法学 = Shudo Law Review	
10.15097/00002955無オープンアクセス国際共著1.著者名 三浦 浩之4.巻 412.論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育5.発行年 2021年3.雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦)6.最初と最後の頁 203-230掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	SEAT - Stude Law Novion	1 01
10.15097/00002955無オープンアクセス国際共著1.著者名 三浦 浩之4.巻 412.論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育5.発行年 2021年3.雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦)6.最初と最後の頁 203-230掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
10.15097/00002955無オープンアクセス国際共著1.著者名 三浦 浩之4.巻 412.論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育5.発行年 2021年3.雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦)6.最初と最後の頁 203-230掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	IT SHAAL AAA AAAA AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA	
オープンアクセス		
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 三浦 浩之 4 . 巻 41 2 . 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6 . 最初と最後の頁 203-230 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	10.15097/00002955	無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 三浦 浩之 4.巻 41 2.論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5.発行年 2021年 3.雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6.最初と最後の頁 203-230 局載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 三浦 浩之 4.巻 41 2.論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5.発行年 2021年 3.雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6.最初と最後の頁 203-230 局載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オーゴンアクセフ	国際共菨
1 . 著者名 三浦 浩之 2 . 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 3 . 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 3 . 雑誌名 の日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 3 . 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 203-230 章誌の有無 なし 有		二
三浦 浩之 41 2. 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6.最初と最後の頁 203-230 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オーノンアクセ人としている(また、その予定である)	-
三浦 浩之 41 2. 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6.最初と最後の頁 203-230 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
三浦 浩之 41 2. 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6.最初と最後の頁 203-230 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名	4 . 巻
2. 論文標題 持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 6.最初と最後の頁 203-230 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		· -
持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 203-230 203-230 名載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし すープンアクセス 国際共著	—//II /II-C	"
持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 203-230 203-230 名載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし すープンアクセス 国際共著		
3 . 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 名載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 6 . 最初と最後の頁 203-230 査読の有無 有	2.誦又標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 名載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 6 . 最初と最後の頁 203-230 査読の有無 有	持続可能な地域社会構築におけるオープンガバナンスと社会教育	2021年
日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 203-230 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著		·
日本生涯教育学会年報第41号(生涯学習研究の継承と挑戦) 203-230 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著	3. 雑註夕	6 是初と是後の百
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセス 国際共著	日本王涯教育字会牛報第41号(生涯字習研究の継承と挑戦)	203-230
なし 有 オープンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著		
		1月
	なし	
・ フンノノ ころ この ない 、 人 はら ・ フンノ ノ ころり 凹 無	オープンアクセス	国際共著
	オープンアクセス	国際共著

1 . 著者名 山川肖美	4.巻 542
2.論文標題 地域とともに未来を創る大学 一歩踏み込んだ 社会貢献のあり方を考える	5.発行年 2020年
3.雑誌名 私学経営	6.最初と最後の頁 22 31
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 山川肖美・三浦浩之・坂口緑	4.巻 885
2.論文標題 学びから生まれる持続可能なまち ~ 結節点としてのシビックエンゲージメントと協働のまちづくり ~	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 社会教育	6.最初と最後の頁 30 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻 65
2.論文標題 コペンハーゲンにおけるまちづくりの担い手育成と社会教育	5 . 発行年 2024年
3.雑誌名 修大論集	6.最初と最後の頁-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15097/00002955	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
〔学会発表〕 計10件(うち招待講演 1件/うち国際学会 1件) 1.発表者名	
山川肖美	
2.発表標題 学びと地域づくりの循環における学習支援者の役割・広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」(の社会的成果の検証 -

3 . 学会等名

4 . 発表年 2022年

日本生涯教育学会第43回大会

1.発表者名 坂口 緑
2 . 発表標題 北欧諸国の高等教育における学問の自由と研究体制:デンマークの場合
3 . 学会等名 北ヨーロッパ学会2021年度学会大会(オンライン)
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Midori Sakaguchi
2 . 発表標題 New Wave of Learning Cities in Japan
3 . 学会等名 ASEM Lifelong Learning Hub Research Network 6 workshop@online(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 坂口 緑
2 . 発表標題 学習都市を再考する
3 . 学会等名 学びから生まれる シビック・エンゲージメント 研究会 (オンライン)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 三浦 浩之
2 . 発表標題 PUBLIC PARTICIPATIONをうみだせる学びとは EngagementとDX
3 . 学会等名 学びから生まれる シビック・エンゲージメント 研究会 (オンライン)
4 . 発表年 2022年

1.発表者名 山川 肖美
2.発表標題 科研での取組概要と成果報告(中間)
3 . 学会等名 学びから生まれる シビック・エンゲージメント 研究会 (オンライン) 4 . 発表年
2022年
1.発表者名 山川 肖美
2.発表標題 多様化する公民館と期待される役割
3 . 学会等名 2021 年度 日本地域政策学会九州沖縄支部総会・フォーラム(オンライン)(招待講演)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 坂口 緑
2 . 発表標題 多文化社会と教育/学習問題における連続性と制度化 川崎市と京都市の事例から
3 . 学会等名 」日本生涯教育学会第41回大会(オンライン開催・発表要旨集への投稿をもって発表に代える代替措置)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 野沢 慎司・坂口 緑
2 . 発表標題 教育プログラムとしての『内なる国際化』プロジェクト
3 . 学会等名 大学教育における「海外体験学習」研究会(JOELN)2020年度年次大会(オンライン開催)
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 坂口 緑・山川 肖美	
2 . 発表標題 学問としてのソーシャル系大学(パネルトーク)	
3.学会等名 第6回「Community College Backstage (CCB vol.6@ONLINE)」	
4.発表年 2020年	
〔図書〕 計3件	
1.著者名 田中雅文・柴田彩千子編著	4 . 発行年 2023年
2 . 出版社 学文社	5.総ページ数 192
3.書名 『生涯学習と地域づくりのハーモニー』	
1 . 著者名 木村恵子・谷口直隆・宮崎康子編著	4 . 発行年 2022年
2.出版社 ナカニシヤ出版	5.総ページ数 ²⁸⁴
3.書名 『教育学のグラデーションー教育学科の歩き方・』	
1.著者名 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編	4 . 発行年 2020年
2.出版社 ぎょうせい	5.総ページ数 ¹⁹²
3.書名 社会教育経営論	

〔産業財産権〕

	そ	m	441	- 1
ı	_	v	1113	J

広島版『学びから始まる地域づくりプロジェクト』支援事業の今後の展開に向けて(副題省略)
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/kenkyu-seika24.html#10
inttps.//www.pren.infosinina.rg.jp/site/center/kenkyu-serkaz4.intiinf#10
_6.研究組織
○ W 7t元□ 高級

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	坂口 緑	明治学院大学・社会学部・教授	
研究分担者	(Sakaguchi Midori)		
	(10339575)	(32683)	
	三浦 浩之	広島修道大学・国際コミュニティ学部・教授	
研究分担者	(Miura Hiroyuki)		
	(80157437)	(35404)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------